

平成27年6月29日（月）朝会

## 「創立140周年～大正時代の上野」



今、学校や町のあちらこちらに140周年のキャラクター「しのぼとちゃん」を見ることができます。140年という長い歴史の忍岡小学校。今日は、大正時代の頃の話をしたと思います。

1912年～26年が大正時代、丁度今から100年前ぐらいです。大正3年に木造2階建ての校舎ができました。その頃の児童の数は、546人もいたそうです。この写真のように当時はまだ着物を着ていました。そして男組女組に分かれていました。



当時の上野では、大正3年（1914年）に不忍池の周りで東京大正博覧会が開催されました。池の上を日本で初めてのケーブルカーが通りました。また、上野の山の東照宮と不忍池を結ぶ、これも日本で初めてのエスカレーターができました。今から100年前ですよ、その頃の人々は、エスカレーターのことを自動階段と言っていたそうです。ケーブルカーなども驚きだったと思います。上野は、そのように大正時代も文化の中心地だったのです。



しかし、大正12年（1923年）9月1日昼ごろ東京を襲った関東大震災によって上野や台東区は大きな被害を受けます。浅草十二階と言われていた凌雲鶴も途中から半分に壊れてしまいます。上野の大仏も顔が落ちてしまいました。命が助かった人々は、家族の安全が知りたく、このように札を大仏に貼りました。

忍岡小学校は、幸い火事にはなりませんでしたが多くの修理が必要になりました。大正14年、この大震災の2年後に創立50周年を迎えました。



### <今日のクイズ>

3年生で訪れる、不忍池のそばの下町風俗資料館に展示していないものはどれでしょうか。

- ① 駄菓子屋 ② たんす ③ 縄文土器 ④ 井戸

【正解】③の縄文土器です。

下町風俗資料館では、明治、大正、昭和時代の初めごろの下町の街並みを再現しています。縄文土器は、生涯学習センターの3階に展示してあります。

